

(3) 昭和51年 7月20日

## 楽しかった竹馬大会



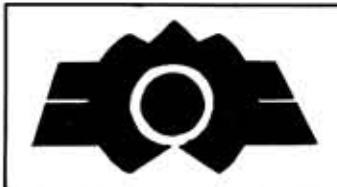
なかなかうまく歩けないな～

ります。それは、ケガ人が多くて、骨を折つたりした人もいたことです。

最後の得点発表の時、成績上位のチームの人たちは、とても喜んでいました。でも、一番だめだったチームでも、そのチームはそのチームなりに、せいいっぱい努力したのだから、それでいいという感想をきました。

みんな「くい」のないようなく力を尽くしたのですから。

これからの児童会



第 2

兒童數 998人 27學級

今までの児童会では、竹馬大会などの行事をつきました。児童委員会で出た質問や意見を話し合い、向の目標、きまりや大事などを、よく話し合いました。

第2校には、学級委員会と生活委員会があります。二つの委員会は、この学校を良くするための委員会です。学級委員会は、学校内の問題をみんなからきき、話し合ひをしたり、行事などの手つだいをしたりします。また、要求活動といつて、みんなから要求をきき、一つ一つそのことが実現できるようにとりくんでいます。その他、朝の集いという集会の中心になつて

学級委員会と生活委員会

がん張つています。  
生活委員会は、あいさつ運動やゴミなし運動、最終下校調査などをします。あいさつ運動とは、朝には「おはよう」、帰りには「さようなら」のあいさつをするといふ運動です。ゴミなし運動は、学校内のゴミをひろつて、美しい学校にしようという運動です。また最終下校調査は、午後四時三十分までにみんなの下校を確かめる調査です。

★ 仁志文話

可也。其事也。

僕、この学校に飼われているうきぎの「こうや」です。僕の名前は、「浅尾紘也」という先生からとられました。この先生は、ちよつと目の玉がでいて、にんじんが大嫌いなんです。僕は、ちよつと目がでいて、にんじんが大好き。それで、僕の世話をしてくれている飼育部のお姉ちゃんやお兄ちゃんたちがつけてくれたんです。僕にぴたりの名前でしょ？ 僕、気にいつてます。

僕は、飼育部のお姉ちゃんやお兄ちゃんたちが、一生懸命つくってくれた小屋に住んでいます。体育倉庫の横にある緑色の小屋です。

僕の室には、他に二匹のうさぎの友だちがいます。僕たちは、みんな真白な白うきぎです。白い毛がふきふさして体中真白。それに赤い目。かわいい人気者です。

だけど、こんな僕たちをおどしたり、追いまわしたりする人がいます。僕たちにいじわるをしないで！ 僕たちいじめられるのはいやだよ。飼育部の人も困ります。怒ります。僕も怒ります。困ります。僕たちとやさしく遊んでね。僕も甘えるもん。僕たちの室の前で、「こうや」と呼んでね。きっといいことがあるからさ。

